

6 図面の作成

(1) 表示記号

設計図を作成するときは、以下の表示記号等を用いて作成してください。なお、他の表示記号を用いる場合は必ず凡例を設けてください。

表 3-18

| 管 種 | 記 号 | 管 種 | 記 号 |
|-----------|-----|-----|-----|
| 硬質塩化ビニル管 | 薄肉管 | 鋼 管 | G P |
| | 厚肉管 | | |
| 鉄筋コンクリート管 | C P | 陶 管 | T P |

表 3-19

| 名 称 | 記 号 | 名 称 | 記 号 | 名 称 | 記 号 |
|--------------------|-----|---|-----|---|--------------------|
| 大 便 器 | | 除 害 施 設 | | 排 水 管 | (汚水赤着色) (雨水青着色) |
| 小 便 器 | | 汚 水 ま す 及 び 汚 水 人 孔 | | 既 設 排 水 管 | (汚水赤着色) (雨水青着色) |
| 手 洗 器 洗 面 台 | | 雨 水 ま す 及 び 雨 水 人 孔 | | 排 水 き よ (U 型 溝) | |
| 台 所 | | 接 続 汚 水 ま す 及 び 接 続 汚 水 人 孔 | | 管 の 交 差 | |
| 浴 室 | | 接 続 雨 水 ま す 及 び 接 続 雨 水 人 孔 | | 雨 ド イ | |
| 床 排 水 等 (スクリーン) | | 格 子 ま す | | 立 管 | |
| 外 流 し | | 既 設 ま す 及 び 既 設 人 孔 | | 公 私 境 界 線 | |
| 洗 濯 機 | | 既 設 接 続 ま す 及 び 既 設 接 続 人 孔 | | 隣 地 境 界 線 | |
| ト ラ ッ プ | | 雨 水 浸 透 ま す 及 び 接 続 雨 水 浸 透 ま す | | 建 物 外 周 | |
| 掃 除 口 | | 地 下 排 水 槽 地 下 汚 水 槽 | | 排 水 面 積 区 画 割 | |
| 浄 化 槽 | | 地 下 湧 水 ポ ン プ | | 浸 透 管 | |
| グ リ ー ス ト ラ ッ プ | | デ ィ ス ポ ー ザ 排 水 処 理 シ ス テ ム (機 械 ・ 生 物) | | デ ィ ス ポ ー ザ 排 水 処 理 シ ス テ ム 処 理 槽 | |

- * 境界線・建物外周・寸法線は細線とし、排水設備は太線で表示してください。
- * 大便器等については、階数による表示をしてください。
- * 立管には必ず上階の器具を明示してください。

(2) 記入数値の単位及び端数処理

表 3-20

| 種 別 | 区 分 | 単 位 | 記 入 数 値 |
|------------------------------|--------------------------|----------------|--------------------------|
| 排 水 管 | 管 径 | mm | |
| | 管 厚 | mm | |
| | 勾 配 | % | 管径 200mm 以下は、小数点以下 1 位まで |
| | | | 管径 200mm 以上は、小数点以下 2 位まで |
| 延 長 | m | 小数点以下 1 位まで | |
| 汚 水 ま す 及び 人 孔 (マンホール) | 内 径 ・ 内 の り | cm | |
| | 深 | cm | cm どまり |
| 雨 水 ま す | 内 径 ・ 内 の り | cm | |
| | 深 | cm | cm どまり |
| | 泥 だ め 深 | cm | cm どまり |
| 排 水 き よ (U 型 溝) | 幅 | cm | |
| | 深 | cm | |
| | 勾 配 | % | 小数点以下 2 位まで |
| | 延 長 | m | 小数点以下 1 位まで |
| 縦 断 面 図 | 地 盤 高 | m | 小数点以下 2 位まで |
| | 土 か ぶ り | m | 小数点以下 2 位まで |
| | 管 底 高 | m | 小数点以下 2 位まで |
| 排 水 面 積 | 1,500 m ² 未 満 | m ² | 小数点以下 1 位まで |
| | 1,500 m ² 以 上 | ha | 小数点以下 4 位まで |

* 各記入数値以下の端数は四捨五入してください。

(3) 記入方法

ア 配置図（平面図）の場合

表 3-21

| 名 称 | 記 入 内 容 | 記 入 例 |
|-----------------------------|--|---|
| 汚 水 管 排 水 管 | 路線番号・管径・管種・勾配・延長 | ⑩100VU 2.0/100 4.0 ⑩100VU 2.0/100 4.0 ○————○ |
| 雨 水 管 排 水 管 | 路線番号・管径・管種・勾配・延長 | R⑩100VU 2.0/100 4.0 R⑩100VU 2.0/100 4.0 ⊗————⊗ |
| 雨 水 浸 透 排 水 管 | 路線番号・管径・管種・勾配・延長（浸） | R⑩100VU 2.0/100 4.0(浸) R⑩100VU 2.0/100 4.0(浸) ⊗-----⊗ |
| 汚 水 ます 及 び 人 孔 (マンホール) | ます番号・内径又は内径のり・深 | No.1 15×H30 No.1 90×H150 |
| 特 殊 な ます | ます番号・内径又は内径のり・深 | No.1 12×30×H30 T-1 (注 1) |
| 雨 水 ます | ます番号・内径又は内径のり・深（泥だめ深） | RNo.1 30×H45(15) (注 2) |
| 雨 水 浸 透 ます | ます番号・内径又は内径のり・深（浸透ます） | RNo.1 30×H50（浸） |
| 雨 水 ます に 防 臭 ト ラ ッ プ 設 置 | ます番号・内径又は内径のり・深〔封水深と泥だめ深の合計数値〕 トラップ型式 | RNo.1 30×H50(20) R T-2 |
| 排 水 き ょ (U 型 溝) | 幅深・勾配・延長 | U15 0.40/100 12.0 |
| ド ロ ッ プ | ます番号・内径又は内径のり・深 ドロップ型式・深 | N0.2 40×H80 D-1 h=50 (注 3) |
| 副 管 | ます番号・内径又は内径のり・深 副管の管径・深 | N0.2 90×H250 副管 φ200 h=97 (注 3) |
| 掃 除 口 | 番号・内径又は内径のり・深 | No.1 10×H50 |
| 地 下 排 水 槽 | 排水の種類・ポンプの数 | 汚水・2基 |
| デ ィ ス ポ ー ザ 処 理 槽 | メーカー名・設計人員 評価機関・評価基準年 | ○○○(株)・300人 茨城薬公検セ・H16.3 基準 (評価機関名は略称する) |
| グ リ ー ス ト ラ ッ プ | メーカー名・容量 名称・認定番号等 工業会等の規格がある場合は、名称・認定番号等記入 | ○○○(株)・300(L) ○○工業会・20100 |

(注 1) 汚水ますはトラップを設置する場合は、平面図にトラップ型式を記入してください。

(注 2) 雨水ますの表示における深は、泥だめ深を加えた深さとしてください。

(注 3) ドロップ、副管の表示において、ドロップ型式・深とあるが、この深は、上流管底と下流管底との落差を cm 単位で表示してください。

| 名 称 | 記 入 内 容 | 記 入 例 |
|---------------------|---|---------------------------------------|
| 汚 水 路 線 | 路線番号・管径・管種・勾配・延長 / | ① 100VU 2.0/100 4.0 (注 1) |
| 雨 水 路 線 | 路線番号・管径・管種・勾配・延長 / | R③100VU 2.0/100 4.0 |
| 雨水浸透路線 | 路線番号・管径・管種・勾配・延長 (浸) / | R③100VU 2.0/100 4.0(浸) |
| 汚水ます及び 人孔(マンホール) | ます番号・内径又は内のり・深 / | No.1 15×H30 No.1 90×H150 |
| 特殊なます | ます番号・内径又は内のり・深 / | No.1 12×30×H30 |
| 雨 水 ます | ます番号・内径又は内のり・深 (泥だめ深) / | RNo.1 30×H45(15) (注 2) |
| 雨水浸透ます | ます番号・内径又は内のり・深 (浸透ます) / | RNo.1 30×H50(浸) |
| 雨水ますに 防臭トラップ設置 | ます番号・内径又は内のり・深 [封水深と泥だめ深 の合計数値] / | RNo.1 30×H50(20) |
| ド ロ ッ プ | ます番号・内径又は内のり・深 / ドロップ型式・深 | No.2 40×H80 D-1 h=50 (注 3) |
| 副 管 | ます番号・内径又は内のり・深 / 副管の管径・深 | No.2 90×H250 副管 φ200 h=97 (注 3) |
| 掃 除 口 | 番号・内径又は内のり・深 / | No.1 10×H50 |

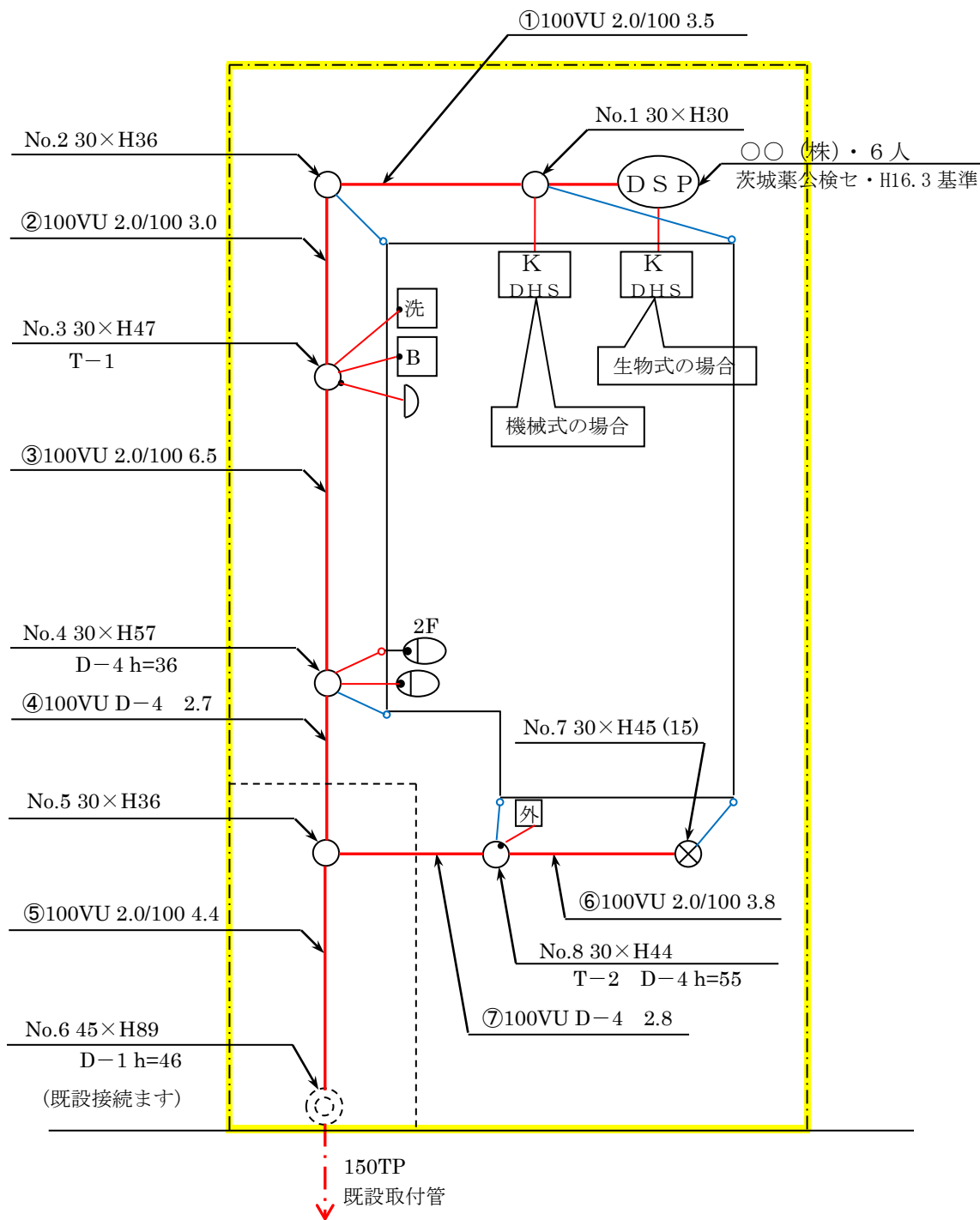
(注 1) 汚水路線及び雨水路線の表示における延長は、一般的にますの中心までの距離としてください。

(注 2) 雨水ますの表示における深は、泥だめ深を加えた深さとしてください。

(注 3) ドロップ、副管の表示において、ドロップ型式・深とあるが、この深は、上流管底と下流管底との落差を cm 単位で表示してください。

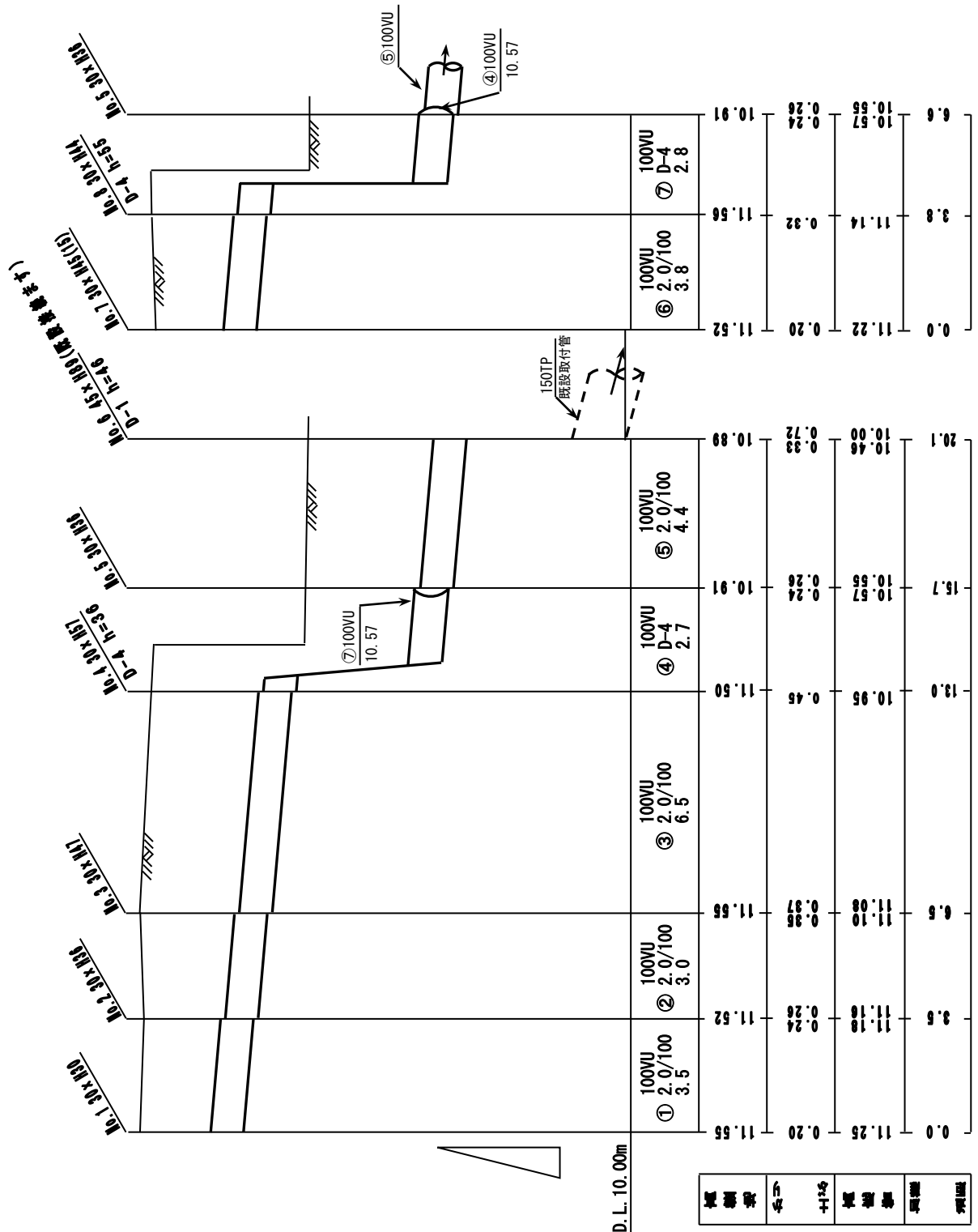
(4) 記入例
 ア 合流式の場合

図 3-32 配置図 (平面図)



- 注 1 ディスポーザ排水処理システムを設置した場合は、必ず記入してください。
 2 グリーストラップが必要となる業種は必ず、適正な容量のものを設置し、平面図に記入してください。

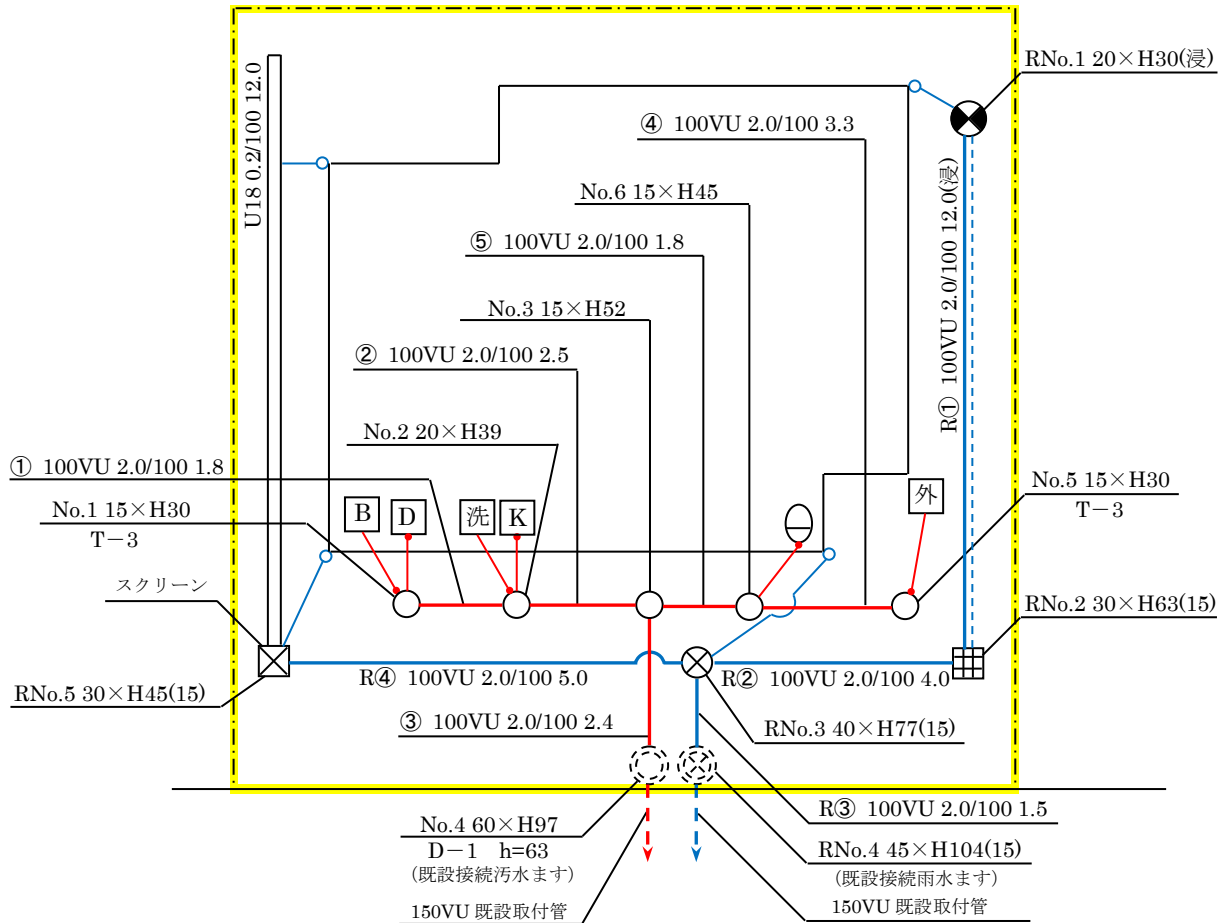
図3-33 縦断面図



- 注 1 土かぶりは、硬質塩化ビニル管（VU）を使用した場合の計算です。
 2 土かぶり＝地盤高－（管底高＋管径＋管厚）
 管底高＝地盤高－（土かぶり＋管径＋管厚）
 ます深＝地盤高－下流管底高（ます内で、上流と下流の管底に1cm以上の落差を付けてください。）

- 3 会合する管については、路線番号・管径・管底高を記載してください。
 イ 分流式の場合

図 3-34 配置図 (平面図)



- 注 1 ディスポーザ排水処理システムを設置した場合は、必ず記入してください。
 2 グリーストラップが必要となる業種は、必ず適正な容量のものを設置し、記入してください。

图 3-35 縦断面図

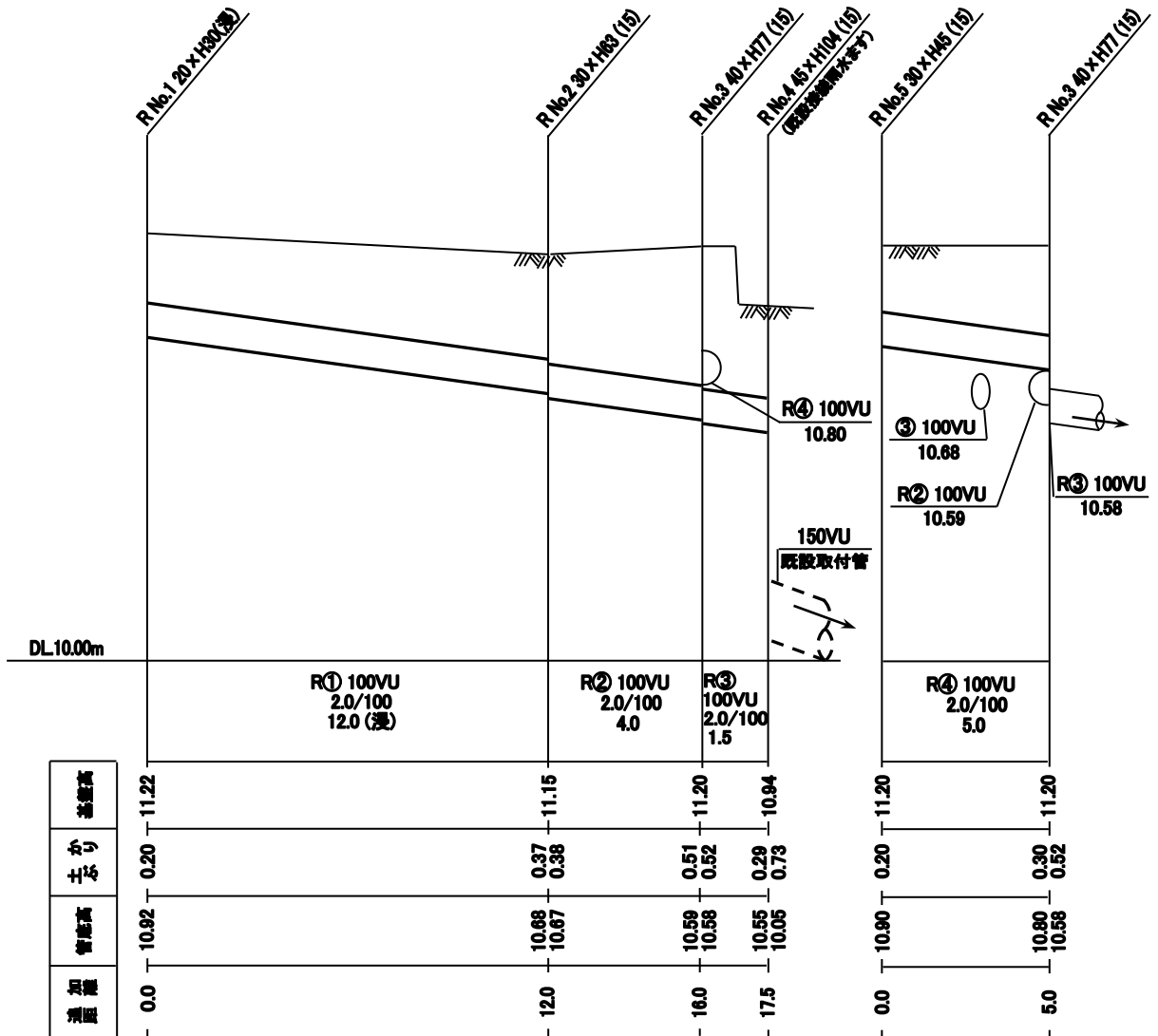
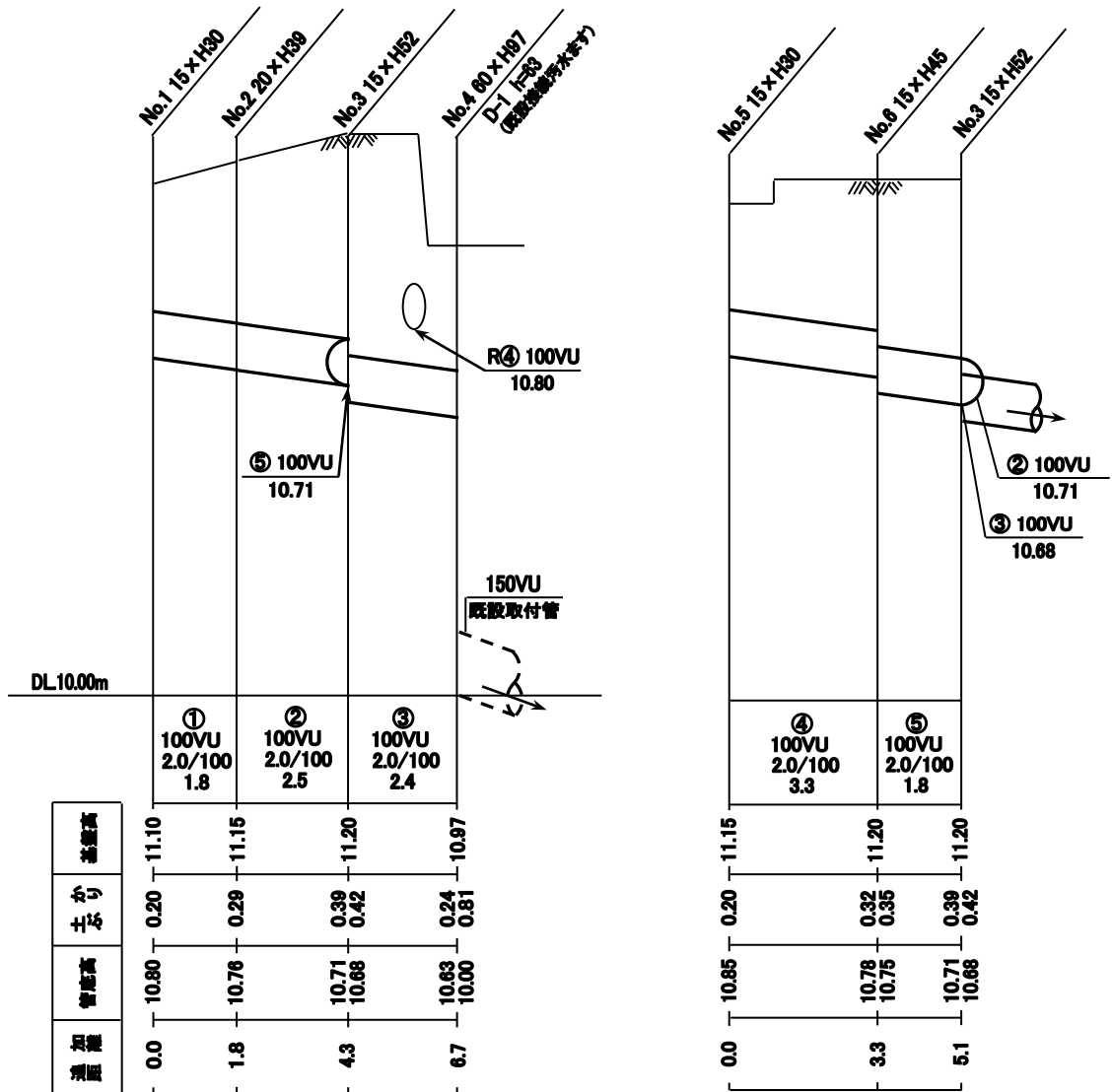


図 3-36 縦断面図



注 1 土かぶり = 地盤高 - (管底高 + 管径 + 管厚)

管底高 = 地盤高 - (土かぶり + 管径 + 管厚)

ます深 = 地盤高 - 下流管底高

2 分流地区で污水管と雨水管が交差する場合は、必ず交差する各々の排水管を縦断面図に記入してください。

ウ ドロップ管及び副管

図 3-37 配置図 (平面図)

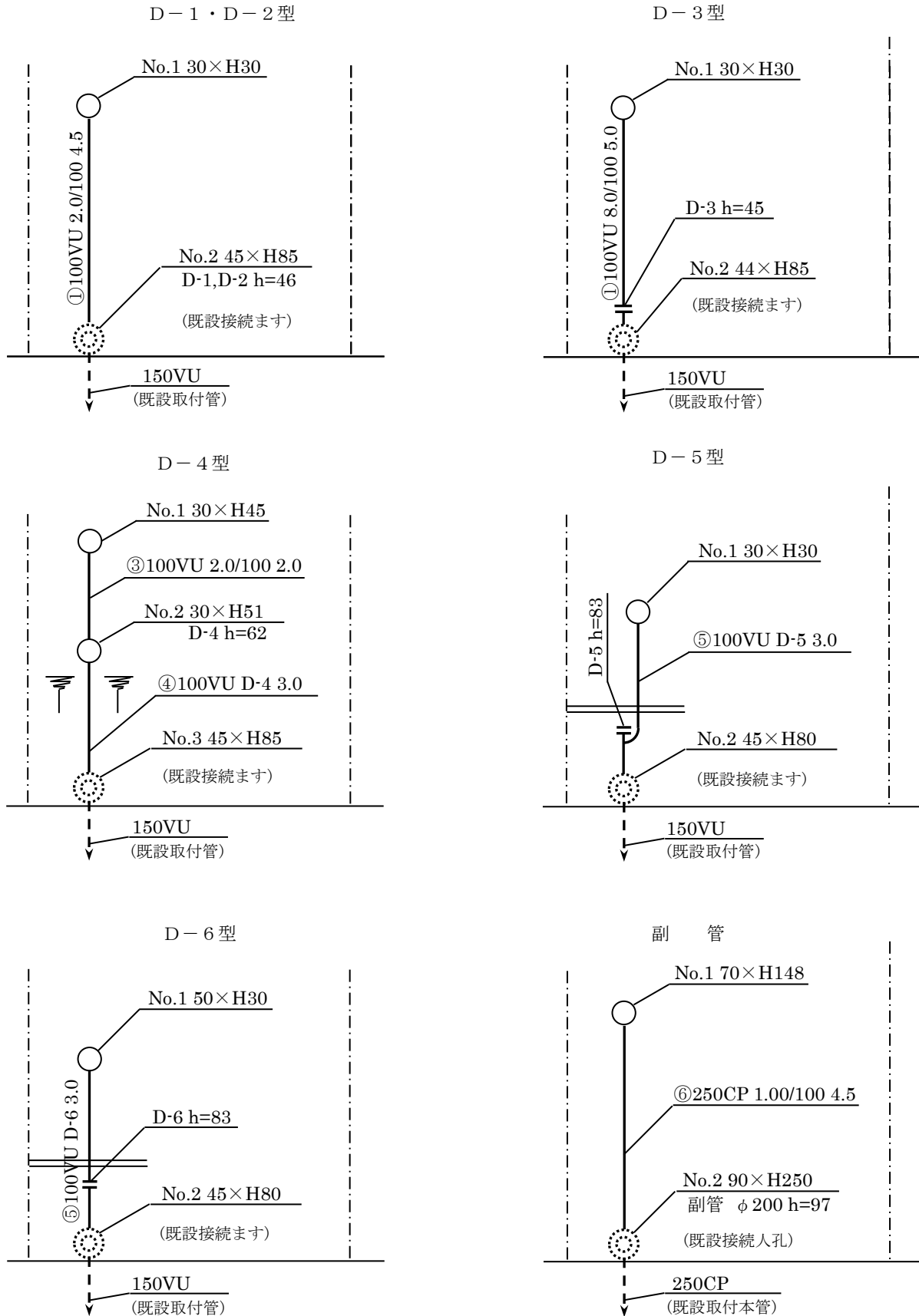
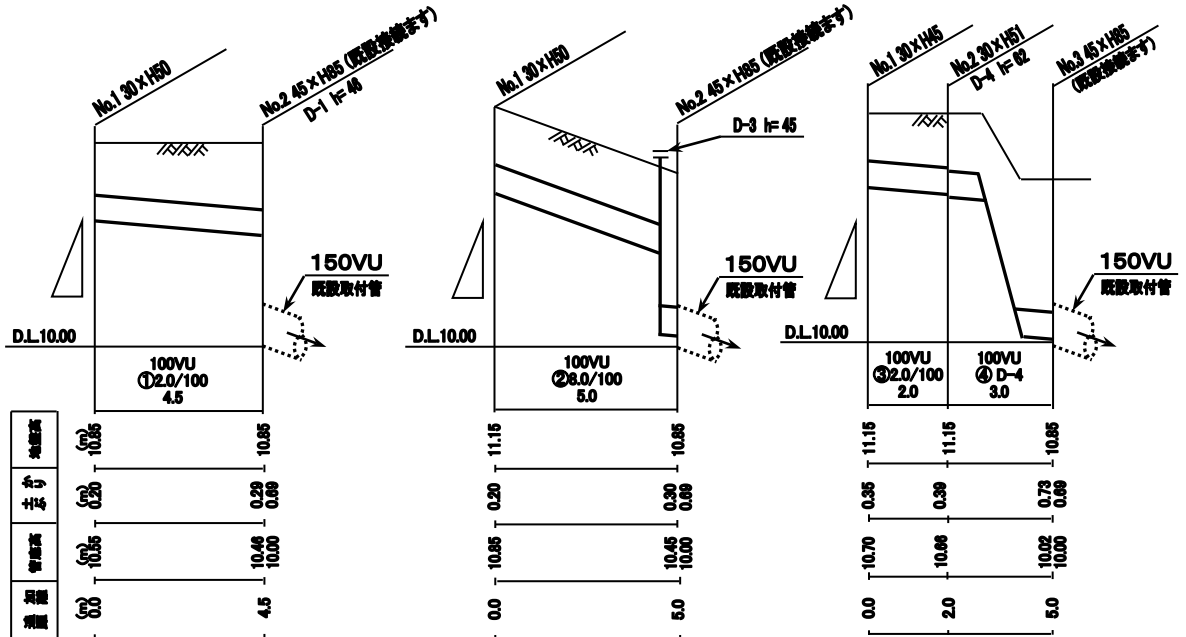


図 3-38 縦断面図

D-1・D-2型

D-3型

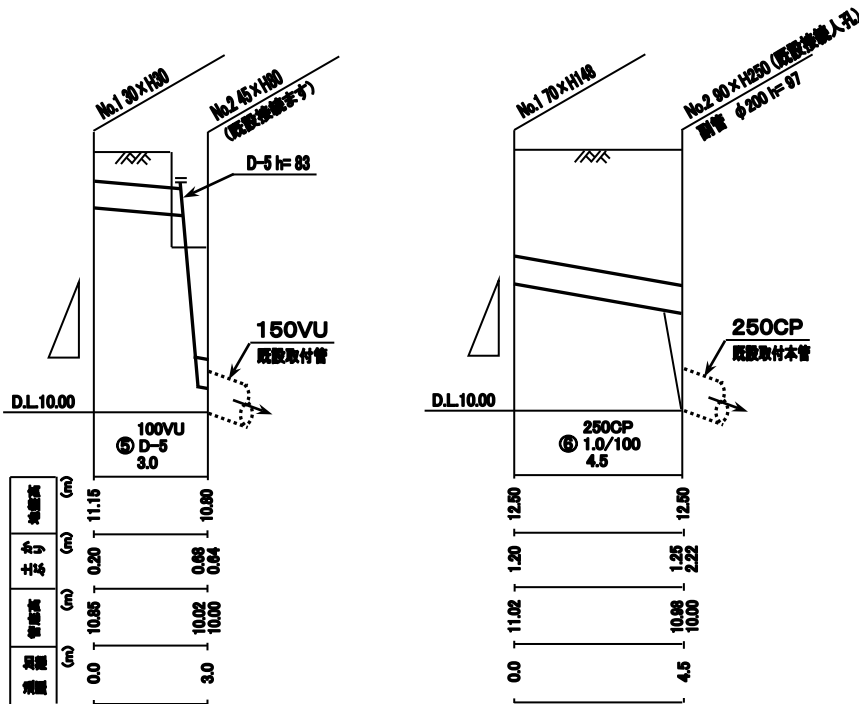
D-4型



* D-4の場合の落差hは、上流ますの流出管底高と下流ますの流入管底高との落差とします。

D-5・D-6型

副管



* D-5、D-6の場合の落差hは、上流ますの流出管底高と下流ますの流入管底高との落差とします。

* ドロップ管及び副管は排水設備の中間ます及び人孔（マンホール）でも使用できます。